

(様式3)

## 令和元年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	中央児童センター	所在地	伊勢市八日市場町13-1 伊勢市福祉健康センター3階
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日
設置目的	市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため		
業務内容	・児童に遊びを与え、その集団的及び個別的指導を行うこと ・運動を主とした遊びを通じて、運動に親しむ習慣の形成、仕方、技能の習得等の指導を行うこと ・子ども会、親子会等地域組織活動の育成助長を行うこと ・その他児童の健全育成に必要な事業を行うこと		
施設概要	本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月) 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(うち本棟4407.58㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て 本棟 3階(940.63㎡) 遊戯室、工作室、事務室、集会室、図書コーナー、会議室、資材室 等		
職員体制	センター長 1名(兼務) 児童の遊びを指導する者 4名		
施設所管課名	子育て応援課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	9,905,000	9,905,000	9,913,000	8,000
		利用料金	26,200	27,900	20,300	△ 7,600
		その他	122,068	0	187,016	187,016
		計(a)	10,053,268	9,932,900	10,120,316	187,416
	支出	人件費	7,537,176	8,219,709	7,380,951	△ 838,758
		管理運営費	1,138,677	990,251	1,136,273	146,022
		その他	1,912,201	0	247,445	247,445
		計(b)	10,588,054	9,209,960	8,764,669	△ 445,291
	収支差引額(a)-(b)		△ 534,786	722,940	1,355,647	632,707

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	人件費:実績による。
----------------------------------	------------

### 3 評価（別表様式4に基づく総合評価）

指定管理者	市
<p>利用者数は、前年度より1,094人減となったが、3月3日から29日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館となったため、3月の利用者数が反映されなかったことが原因である。日平均の利用者数は、昨年より1.8人増えている。</p> <p>また昨年同様一日中利用する小中学生や幼児親子連れが増え、児童センターが居場所として定着されている。</p> <p>今年度は、「カレー食堂」を「児童センター食堂」と名前を変え、メニューを増やしたことで、参加人数が増加した。</p> <p>レスパイトケアを目的とした、ベビータッチヨガ・親子で楽しく体を動かそう！・伊勢理容美容専門学校の先生、生徒によるエステやネイルケア、ママの手作り教室も昨年のアンケート結果を基に利用者のニーズに応えるよう、内容を少し変化させ開催した。</p> <p>図書コーナーにおいては、小・中・高校生とコミックスを読むため利用したり、市立図書館が休みの日は、中高生が勉強をするようになった。中高生が利用していることにより、小学生も宿題を持ってきて図書コーナーを利用する姿も見受けられ、図書コーナーの利用者も増えてきている。</p>	<p>施設の管理については適正に行われていた。</p> <p>利用者数についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館期間外である4月～翌2月までの11か月間について、平成30年度の同期間と比較しても利用者は増加しており、各種教室・イベント等を開催するなど、利用者のニーズに合わせた積極的な運営を行っていただいた成果であると考えられる。</p> <p>開催内容についても、乳幼児とその保護者を対象としたものから中高生を対象としたものまで幅広く開催されており、特定の年齢層に大きく偏らない施設の利用に繋がっている。</p> <p>今後も様々な取り組みを継続していただき、利用者のニーズに沿ったサービスが提供できるよう期待したい。</p>

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

中央児童センター

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	毎週火曜日朝礼で職員行動原則の唱和を行い、職員の意識を高めている。また、現場においては、施設の目的や基本方針を理解し、業務を行った。	A	施設の目的や基本方針を定例的にとめなおすなど、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	施設の設置目的である「児童健全育成」を念頭に置き、注意喚起および行事内容等も考慮して業務を行った	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月3日～29日まで休館となったことで年間来館者数は減ったが、一日の平均人数は昨年度より増加している。	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館を行った3月を除く、4月～翌2月までの来館者数は前年と比べ増加しており、利用ニーズに応えている。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	台風・および新型コロナウイルスのため、休館とした日以外は、伊勢市児童館条例に基づき開館運営を行った。	A	伊勢市児童館条例に基づき運営を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館対応も適切に行った。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	職員の業務分担を明確にし、協力しながら職務を遂行した。	A	現場責任者・業務担当者の届出があり、勤務体制としても効率化を図りながら、児童センターの運営業務を円滑に行っていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	現場から管理責任者への報告は密に行われ、市への報告は直接電話または、メールで行っている。	A	仕様書に基づき毎月の報告がなされた。また、突発的な協議事項については逐一連絡を取り、適正に行った。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	毎月の行事計画、修繕、破棄、点検、事故などの記録は適切に保管した。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	地域のボランティアによるボランティア祭りに参加したり、福祉健康センター前坂社の境内清掃を行ったり、地域との交流を行った。	A	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを適切に実施し、地域の振興が図れていた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	—	—	—	—
	⑩利用料金等の徴取状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	—	—	—	—
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	行事参加者名簿・来館者名簿などは、鍵のかかるところへ保管し、情報が漏洩しない様に気を付けた。	A	個人情報漏洩などの問題は発生しておらず、情報流出に努めている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名 中央児童センター

評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	参加したくなるような行事の企画をし、利用者の利便性を考え時間設定を変えたり、できる限りの取り組みをした。	A	イベント内容のみでなく、想定される利用対象者に合わせた開催スケジュールを構築し、利用者数の増加に努めた。		
	②利用者の平等な利用	A	利用者への対応については、職員間で差が出ないよう基本ルールを決め臨機応変な対応についても、必ず報告し合い平等なサービスを心がけた。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。		
	③適切な情報提供	A	情報提供については、来館者へ直接声掛けをしたり、市の情報コーナー・社協HPへの掲載、児童センターだよりでの配布、マ・メール配信、児童センター内での掲示で周知を図り、できる限り利用者が情報を得るように努めた。	A	掲示物やチラシなどの作成の際、見易さ・分かりやすさも視点に入れ、効果的な情報提供をしている。		
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時マニュアルを準備し対応している。また月1回の避難訓練を実施し利用者、職員共に緊急時に備えている。事故発生についても、職員間の対応や報告など適切に行っている。	A	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準に規定のある「月1回の非常時の訓練」も、毎月テーマを決めて、適切に行われていた。		
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見・苦情については、できる限り迅速かつ適切に対応するよう心がけている。事故等については、予防策や安全確保など常に気を配って対処している。		
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	毎年行われる満足度調査に基づいて、できる限り利用者のニーズに応えるよう行事等を企画した。今年度は、人気のカレー食堂を「児童センター食堂」とし、メニューを増やしている。他にも、子育て中の保護者向け行事など、利用者のニーズに応えるように実施した。	A	利用者のニーズに合わせて既存事業の見直しや、新規事業の検討を行っている。
	3	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	行事開催後には、かならず振り返り、良かった点・気をつける点など記載し、月1回のミーティングで話し合い、次年度につなげるように努めている。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	年1回、業者による遊具点検、月1回職員による点検を実施し、遊具の安全管理を行っている。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。		
	②備品等の管理	A	職員が備品や遊具の点検を行い、備品台帳で管理している。また壊れた玩具はおもちゃの病院(ボランティア)に連絡し、直してもらったり、年1回の業者による遊具保守点検を実施している。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。		
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は、速やかに職員による処置を行っている。また職員の修理では無理な場合、業者に修繕依頼をし記録をしている。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	月～金曜日、祝日は清掃会社に依頼、土日は職員が清掃を行い清潔を保っている。3月の休館時には、普段行き届いていなかった場所の清掃や図書コーナーの整理整頓をし、開館に向けて衛生面に気を配った。	A	予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は決められた場所に保管し、閉館後は事務所に返却している。戸締りは、職員が2重に確認し、閉め忘れがないよう心掛けた。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。